平成29年度普及指導計画体系図

南加賀農林総合事務所

【基本課題】	【普及指導課題】	【主な普及指導事項】	【現状(H28) → 目標(H29)】
地域の農業を担う多様な担い手の活躍の支援	多様な担い手による地域農業の基盤強化と活性化 (H28～30)	人・農地プランの活用による農地集積推進	
		・能美小松地域では集落営農組織を対象に農地集積を誘導 ・加賀地域では中規模個別経営体を重点とした農地集積の誘導	担い手への農地集積率　68% → 72%
		・小松地域では集落営農組織に対し、集落営農組織連絡協議会を活用した法人化への誘導	新規設立法人数（累計） 6経営体 → 10経営体
		地域や営農条件に応じた経営力の強い経営体の育成	
		・複合化・多角化(ベストミックス)のモデル育成による取り組み支援	複合化・多角化に取り組む経営体数（累計）　26経営体 → 28経営体
		・複合化品目の導入・実証（たまねぎ、加工用トマト）	推進品目数（累計）　2品目　→　4品目
		・生産効率改善のための製造業の生産管理手法の導入支援	取組経営体数（累計） 1経営体　→　3経営体
		地域農業を支える新たな農業人材の育成・支援	
		・個別指導カルテに基づく重点指導の実施	就農５年後の農業者の就農計画の所得目標達成率　7% → 100%
		・若手女性農業者の経営参画支援とネットワーク形成支援	新規ネットワーク形成（組織化） 0組織 → 1組織
消費者ニーズの変化に対応した生産・販路の拡大	ブランド化品目の生産振興と産地づくり (H28～31)	ルビーロマンの生産拡大と商品化率の向上	
		・好適樹相への誘導と着果量の適正化	出荷房数　6,554房 →　7,300房
		・新技術の実証（スポットクーラー等による大房の着色向上）	700g以上の果房割合　39% → 45%
		エアリーフローラ産地の育成	
		・新規栽培者等の育成による生産拡大	出荷量　87千本→79千本(H29見込) →175千本
		・冷蔵促成栽培の導入拡大による生産拡大	促成作型比率 40.6% →50.0%(H29見込) →65%
		・季咲栽培の枝切り出荷による出荷量拡大	季咲採花率　48.7% →44.7%(H29見込) → 75%
		ＧＩ取得を契機とした加賀丸いもの生産・出荷拡大	
		・高畝形成マルチ技術の導入拡大による生産性向上	導入面積　1.5ha → 5.0ha
		・新規生産者の発掘・育成による担い手確保	新規生産者(累計)　4名 → 5名
		・ＧＩ登録を活用した高付加価値化の支援	販売額　99,285千円 →102,200千円 ※現状値・H27年生産分
	南加賀産米のブランド力向上と水田高度利用 (H28～30)	売れる米産地づくり（うまい・きれい石川米づくり運動）	１等米比率(主要2品種)　93.7%→90%以上 コシヒカリ 整粒歩合　77.5%　→ 80%以上 適期中干し実施率（6月上旬） 65.1%　→ 70%以上
		・適正穂相・稲姿への誘導による品質・食味の高位安定化(適期中干し、出穂後の飽水管理等の１か月対策、土づくりの啓発)	
		省力・低コスト稲作技術の推進と新品種の導入	直播栽培面積　516ha → 530ha
		・経営指標に基づくＶ溝直播・鉄コーティング直播の推進	石川65号 単収 736kg/10a → 700kg/10a
		・石川65号の高品質・安定生産に向けた技術指導	整粒歩合 59.2% → 70%以上
		麦類・大豆の生産性向上	大麦単収(精麦)237kg10a → 350 kg/10a
		・排水対策などの基本技術実施の徹底による単収向上	大豆単収　200kg/10a → 250 kg/10a
	実需者のニーズに対応した生産・販路の拡大 (H28～30)	主要産地の活性化支援	
		ブロッコリー ・かぼちゃ（小松・能美） ・なし	越冬作型の安定化による生産量拡大 新規生産者の勧誘・既存生産者の育成による生産拡大 黒星病の防除対策 加賀しずくの生産拡大	越冬作（3～4月）出荷量　9.6t→　23.6t 促成作出荷量　35.5t → 39t 出荷量　1,056ｔ →　1,200ｔ 加賀しずく栽培面積　1.6ha　→　1.9ha
		地域ぐるみの地産地消推進	
		・産地見学会等の実施による実需者の理解促進	紹介産地数　7産地 → 8産地以上 管内スーパーの常設地産地消売場 0か所　→　1か所
		・食育教室実施による食育の推進	食育教室実施校数　新規５校
地域の強みを生かした里山の生業づくりと魅力発信	各作物・品目で対応		
次世代に向けた他産業との連携による農業の収益性の改善	産地の維持・発展に向けた生産体系の見直し (H28～30)	他産業との連携による収益性向上	実証ほ(養液)単収
		・ICT機器と自然エネルギーを活用した生産技術向上支援(トマト)	長期穫り作型 20ｔ/10a（実証ほ実績）→25t/10a 夏秋作型 6.3ｔ/10a（部会実績）　→17t/10a
		・生産効率改善のための製造業の生産管理手法の導入支援(再掲)	

[　　] は重点課題

[　　] は一般課題